

ロジスティクス環境会議

第 2 回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

・ 日 時：2004年2月17日(火) 14:00～17:00

・ 場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館2F アイビー

・ 出席者：36名

・ 議 案：

- 1) 省資源ロジスティクス推進委員会の活動内容について
- 2) その他

・ 開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

・ 第 1 回委員会議事録の確認【資料 1】

事務局より、資料 1 に基づき、第 1 回委員会の議事経過の報告がなされ、第 1 回委員会の議事録の確認がされた。

・ アンケート集計結果の報告

1) 問題抽出アンケート 2 次集計結果の概要【資料 2 - 1】

事務局より、資料 2 - 1 に基づき、1 件の回答が複数の委員会の検討課題(テーマ)として取扱われることが望ましい場合も考えられるため、これに対応した 2 次集計を行った結果の概要が報告された。

2) 活動内容等に関するアンケート集計結果の概要【資料 2 - 2】

事務局より、資料 2 - 2 に基づき、第 1 回委員会開催後に行われた「委員会の活動内容に関するアンケート」の結果の概要が報告された。

主な回答結果として、活動テーマへの要望については、共同物流 15 件、モーダルシフト 13 件、省資源 11 件、アウトプットへの要望については、ガイドライン 14 件、事例集 11 件、提言 10 件等が報告された。

・ 議事の経過

1. 議 事

山本委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 省資源ロジスティクス推進委員会の活動内容について【資料 3】

山本委員長より、資料 3 に基づき、第 1 回委員会に引続き、正副委員長ミーティングの検討内容と委員会の議題と(合意形成)したい項目について確認がなされ、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

- 【委員】具体的な活動を行っていく場合、分科会形式でテーマを掘り下げても良いのではないか。
- 【委員】分科会形式で委員会を運営していくことに賛成である。各メンバーは興味のあるテーマの分科会に参加するべきであり、複数登録も可能にした方が良い。
- 【委員】テーマによっては、当委員会だけでは方向性等が見出せない場合もある。JILSで組織化している業種別分科会に投げかけることも必要ではないか。
- 【委員】当委員会の大きな課題である企業間連携を推進するためには、A B C (活動基準別原価計算)が重要となる。また、運営方法としては、取組むべき問題と取組むことが出来る問題というように整理したうえで具体的な活動に入った方が良いのではないか。
- 【委員】環境やコスト削減をテーマに活動を進めようとする場合、小売業との取引関係が制約になる場合があるため、当委員会を通じて解決の糸口となるようなガイドライン等を作成したい。
- 【委員】小売業としても、サプライチェーン全体を通して環境負荷やコストの低減に結びつくような共同配送のコーディネート等の活動を始めている。以前は各店舗のバイヤー間や物流部門等の連携が取れていなかったことに問題があったが、それを克服するために各部門の連携を強化している。
- 【委員】パレットの流出が大きな問題となっている。環境負荷を低減していくためには、パレチゼーションの果たす役割も大きい。I C タグ等で情報化し、仕組みとして成り立つようにしていきたい。
- 【委員】共同配送に興味がある。分科会で検討していきたい。
- 【委員】モーダルシフト等の調査は既に行政で行われているものがある。既に公開されている報告書等は活用していくべきである。
- 【委員】議論する範囲として消費者まで含むのかなど、枠組みの検討が必要ではないか。また、テーマの難易度を確認したうえで、活動の優先順位を検討しても良いのではないか。
- 【委員】活動テーマの候補がいくつかあるが、製造業等の荷主企業と物流企業が共に方向性を見出すような取組みをするべきではないか。
- 【委員】複数企業間で環境負荷低減等の活動を行う場合、企業間におけるデータ交換等も含め、標準化が大きな課題となる。当委員会で議論していきたい。

以上のような意見交換が行われた後、正副委員長により以下のような確認がなれた。

- 1) 資料3による、当委員会の基本的な活動の方針や方向性、成果(アウトプット)は第2回委員会を持って了承いただいたものとする。詳細の表現等については、正副委員長による協議のうえ最終版とし、委員長ミーティングおよび第3回企画運営委員会に図り、第2回本会議にて発表する。
- 2) 活動のテーマや切口については、業種によって興味が異なるため、次回委員会までに正副委員長と事務局にて協議のうえ、分科会等の原案を作成し、次回の第3回委員会にて提案する。

2) その他

今後のスケジュールについて

第3回委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年3月24日(水) 10:00～12:00

会場：芝パークホテル 本館3F 牡丹

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以 上